Rotary
Zones 1 & 2 & 3

コーディネーター
NEWS

2018年12月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■ 「ロータリアンの顔の見える、ストーリーのある住民参加の広報活動 」

第3ゾーン・RPIC部門戦略計画において、第3ゾーン2018－19年度の目標を一番目にロータリー公共イメージと認知度の向上：マスメディア・地方広報機関・SNSで推進、二番目に「My ROTARY」への登録率60％の達成、三番目に「ロータリークラブ・セントラル」への各クラブ活動Dataの定期的入力と開示の推進を掲げた。

4月22日、車いすバスケ大会
気迫溢れるプレーに注目！
会場は鹿児島アリーナで、観戦無料
鹿児島サザンウインドロータリークラブ

2730地区の2016年6月末でのMy ROTARYの登録率は14.54％と低迷していた。そこで、クラブ戦略計画に対する取り組みの状況と公共イメージ向上への対応を分析して、地区としてどのようにクラブ強化のサポートが出来るのかを提言する目的で各クラブ役員に公共イメージ向上のアンケート調査をしました。65クラブ中57クラブから回答があり回答率は87.76％でした。このことから公共イメージに対する関心の高さがうかがえました。しかし、戦略計画委員会を設置しているクラブが28%と低いことがわかりました。

公共イメージ向上のために地域社会が必要としている奉仕活動を「クラブとして、何かしていますか。又は、見直しをしていますか」の問いに対して87.7%のクラブが「はい」でした。
「2017-18年度の活動をマスコミなどで報道されたことがありますか」の問いに対して73.7％のクラブが「はい」と高い回答率でした。
「2018-19年度のロータリー賞へのチャレンジを予定していますか」の問には、「はい」が35.1%で「いいえ」が57.9%となっていた。
「世界を変える行動人」キャンペーンを知っていますかについてはよく知っている5.3%、聞いたことがある43.9%、知らない47.4%でした。
これらのデータから、My ROTARYのラーニングセンターやロータリークラブ・セントラルをもっと活用し、戦略計画と公共イメージに対する認識と理解を深め、そして、「地元を変える行動人」の推進を強く感じました。
ロータリーの奉仕活動には有形無形のものがあります。
今後の地域での広報の在り方については地域住民も巻き込み，ストーリーの伝えられるロータリアンの顔が見えることが必要だと思います。また、持続可能な積極的参加の出来る内容と仕組み、仕掛けつくりを検討することによって多様性のある広報手段で、公共イメージ向上に繋げると思います。

第3ゾーン　ロータリー公共イメージコーディネーター補佐　山下皓三（鹿児島西RC）

■ 「ロータリーの情報伝達経路の不備」

九州4地区担当のロータリーコーディネーター補佐を務めて2年目になります。働きかけの相手が自分の地区だけでなく他の3地区も含まれるので、あまり手を広げても抽象論に終わる可能性があるので、会員増強だけに絞って取組みました。一般に会員数は期首から増加し、12月、3月、6月に減少し、殊に6月末には多数の退会者があるので、期首からの増加だけを見ていても期末の会員数を推定することは困難です。一方、前年同月との比較を見ると、期末の増減が比較的早期に推定できます。そこで、九州4地区の過去5年間の前年同月の比較の統計に加えて当該年度のデータを毎月末にガバナーに送付して、地区の会員増強の参考にしてもらう試みをしました。その効果があってかどうか、九州4地区で合計82名の純増になりました。今年度はガバナーに加えて地区幹事と地区会員増強委員長にも送付しています。
ところで、私が地区ガバナーに伝えた情報が各クラブの会長やクラブ会員増強委員長を経てさらにクラブ会員にまで伝達されているかどうかが気になります。同様に、RI会長の活動方針がロータリーの真の実力者であるクラブ会員まで浸透しているかどうかです。当地区では、ロータリーの本質は例会出席、親睦、職業奉仕、陰徳であるという説が広く信じられており、数年前のロータリー研究会で、「例会なくして親睦なし　親睦なくして奉仕なし」とのスローガンが他地区から声高に述べられました（中核的価値観の親睦をご一読願います）。そのような雰囲気に数十年どっぷりとつかっていた会員がクラブ会長になり、やがてガバナーになった場合、「国際ロータリーは世界有数の国際人道支援団体である」という見識を持ったRI会長の意向が、GETSや国際協議会などの短期集中研修を行ってはいますが、誤解なく受け入れられているだろうか。これに関して、今年度の私の地区のガバナーメッセージ「寛容と思いやり そして和の心」が月信の表紙に大きく印刷されており、その下に小さな活字で国際ロータリーのテーマ「インスピレーションになろう」が書いてあります。これは手続要覧の趣旨とは異なるだけでなく、ガバナーの役割が問われるように思います。
このような状況で、ARCの私のお勧めがどの程度地区ガバナーに受け入れられるかやや不安もありますが、会員増強はクラブの存続にもかかわることが比較的分かり易いのですが、財団への寄附や公共イメージと認知度の向上などの活動についてガバナーのリーダーシップがどの程度発揮されるか心もとない点があるように思います。

第3ゾーンロータリーコーディネーター補佐　穴井元昭（博多RC）